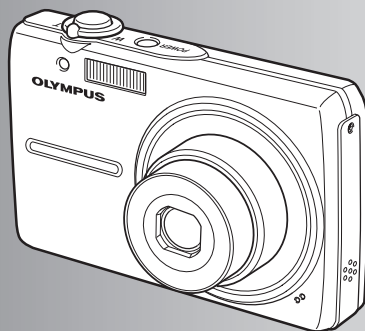
デジタルカメラ

OLYMPUS®

FE-230/X-790
FE-240/X-795

取扱説明書

かんたんガイド
すぐ使いたい方は、
こちらをお読みください。

ボタンを使って操作する

メニューを使って操作する

プリントする

OLYMPUS Master を使う

もっとカメラのことが
知りたいときに

資料

- オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。製品をご使用になる前に、カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。
- 海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は、FE-230/X-790、FE-240/X-795 共通の取扱説明書です。カメラのイラストは、FE-230/X-790 を使用して説明しています。どちらか一方に固有の機能または形状の場合は、機種名を明記しています。

本書の構成

基本操作を覚える ⇨ かんたんガイド

カメラの準備と設定、静止画の撮影から再生までの基本操作を順を追って説明しています。

こんな方におすすめ

- **オリンパスのデジタルカメラを初めて使う方**
- **デジタルカメラをあまり使ったことがない方**

知りたい内容をすばやく探す

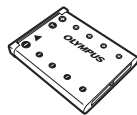
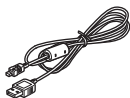
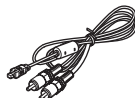
カメラのボタンやメニューなど、機能別に説明しています。知っている用語から探したり、やりたいこと、知りたいことから探すことができます。

こんな方におすすめ

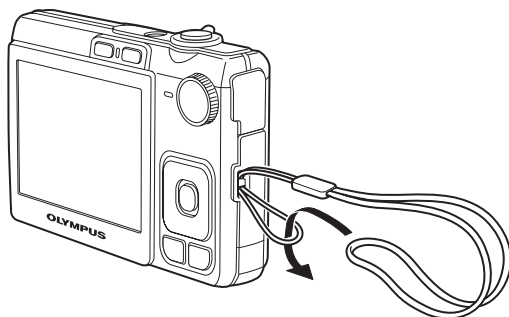
- **デジタルカメラを使い慣れている方**

Web版 取扱説明書

オリンパスホームページにて作例写真を使った撮影テクニックを紹介しています。
http://www.olympus.co.jp/jp/imsg/webmanual/

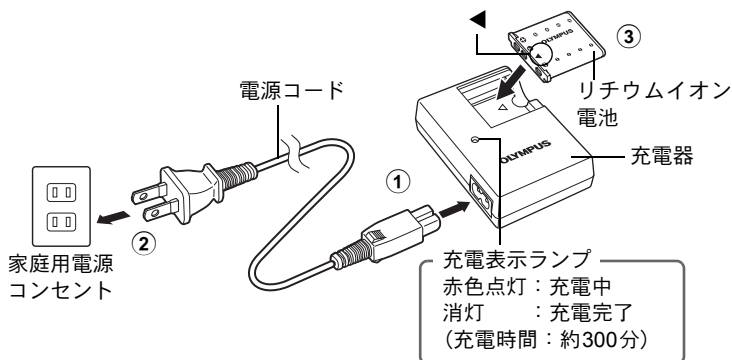
箱の中身を確認する

デジタルカメラ　ストラップ　リチウムイオン電池（LI-42B）

充電器（LI-40C）　USBケーブル　AVケーブル　OLYMPUS Master CD-ROM

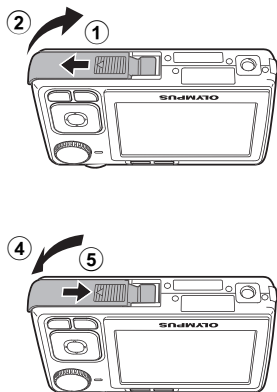
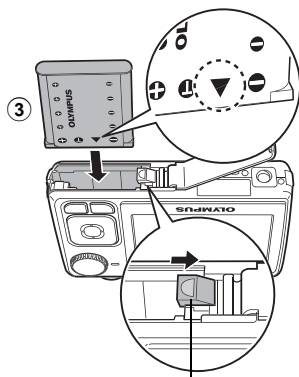
その他の付属品
- 取扱説明書（本書）
- 保証書

ストラップを取り付ける

- 少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

かんたんガイド

電池を準備する

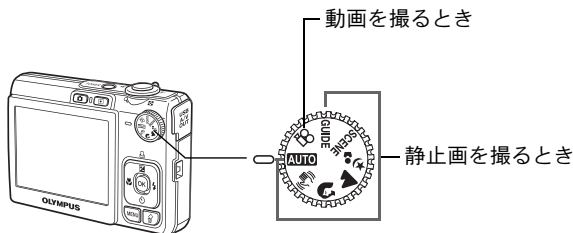
a. 充電する

●お買い上げいただいたとき、電池は完全には充電されていません。

b. カメラに入れる

●電池は▼側から入れてください。

●電池を取り外すときは、矢印の方向に押してください。

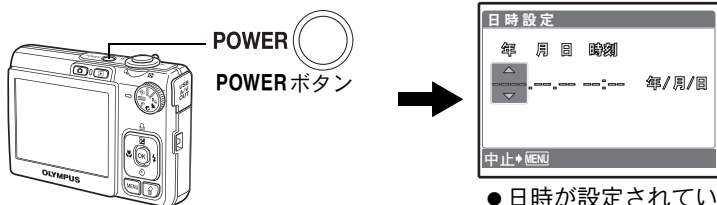
●このカメラは別売のxD-ピクチャーカード（以降カードと呼びます）を入れなくても撮影できます。カードの入れ方については「カードを入れる／取り出す」（P.65）をご覧ください。

電源を入れる

ここでは、撮影モードで電源を入れる方法を説明します。

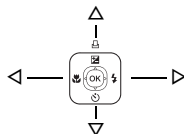
a. モードダイヤルを AUTO に合わせる

静止画撮影モード

AUTO	通常の撮影に適しています。
((手))	撮影時の手ぶれ、被写体のぶれによる画像の揺れを軽減して撮影します。
(人物)	人物を撮影するのに最適です。
(風景)	風景を撮影するのに最適です。
(夜景&人物)	夜景と人物を撮影するのに最適です。
SCENE	撮影状況に合わせた10種類（FE-240/X-795）、または13種類（FE-230/X-790）の撮影シーンから選択します。
GUIDE	画面に表示される撮影ガイドにしたがうと、目的にあった撮影ができます。

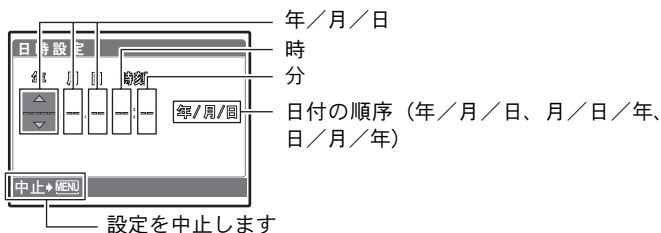
b. POWER ボタンを押す

● 日時が設定されていない場合は、この画面が表示されます。

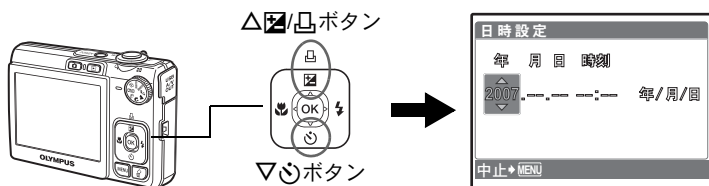
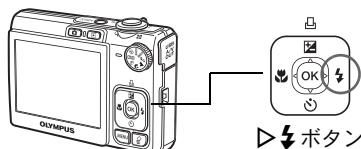
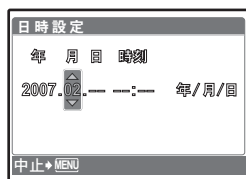
● 電源を切るときは、もう一度**POWER**ボタンを押します。

ヒント

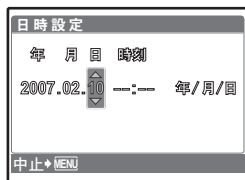
本書では十字ボタンの方向を△▽◁▷で示しています。

かんたんガイド

日時を設定する

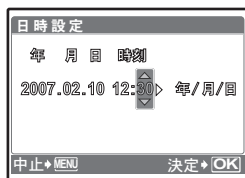
日時設定の画面について

a. △/ボタンと ▽ボタンを押して［年］を設定する

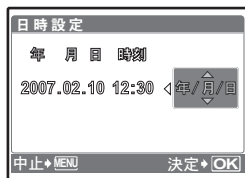
• ［年］の上2桁は固定されています。

b. ▷ ボタンを押す

c. △/ボタンと ▽ボタンを押して［月］を設定する

かんたんガイド

d. ▷⚡ ボタンを押す

e. △☒/凸 ボタンと ▽ⓢ ボタンを押して［日］を設定する

f. ▷⚡ ボタンを押す

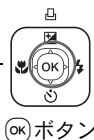
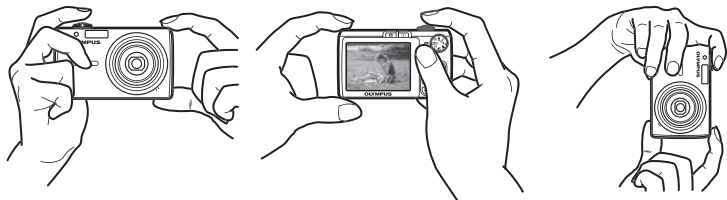
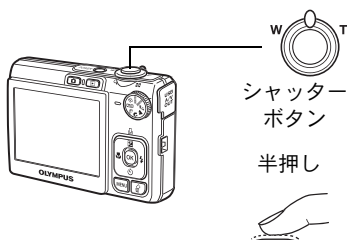
g. △☒/凸 ボタンと ▽ⓢ ボタンを押して「時」「分」を設定する

- カメラの時間表示は24時間表示です。

h. ▷⚡ ボタンを押す

i. △☒/凸 ボタンと ▽ⓢ ボタンを押して［年 / 月 / 日］を設定する

j. すべての項目を設定したら、OK を押す

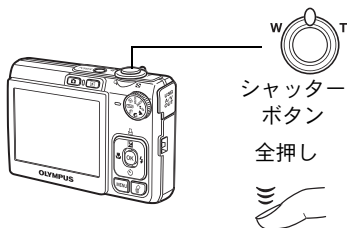
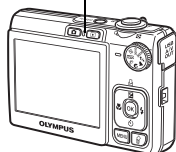
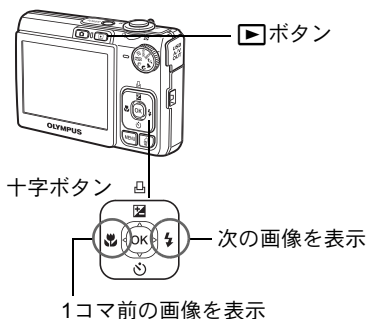
- 0秒の時報に合わせてOKを押すと、正確に時間を合わせられます。

かんたんガイド

撮る

a. 構える

b. ピントを合わせる

このマークを被写体に合わせます。

撮影できる枚数が表示されます。

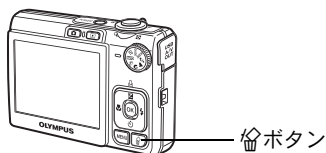
ピントと露出が固定されると、緑ランプが点灯します。

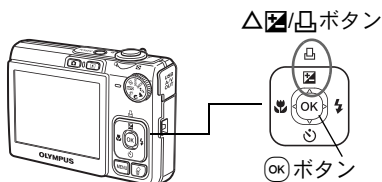
c. 撮る

撮った画像を見る

a. ▶ ボタンを押す

撮った画像を消す

a. ◁ ボタンと ▷ ボタンを押して、消したい画像を表示する

b. 🗑 ボタンを押す

c. △/凸 ボタンを押して［消去］を選択し、OK を押す

もくじ

ボタンを使って操作する 14

実際にカメラを手に取ってイラストで確認しながら、カメラのボタンの機能を試してください。

メニューを使って操作する 20

メニューの基本的な操作方法から、各メニューの機能や設定内容など、メニューのすべてがわかります。

撮影した画像をプリントする方法について説明しています。

OLYMPUS Masterを使う 42

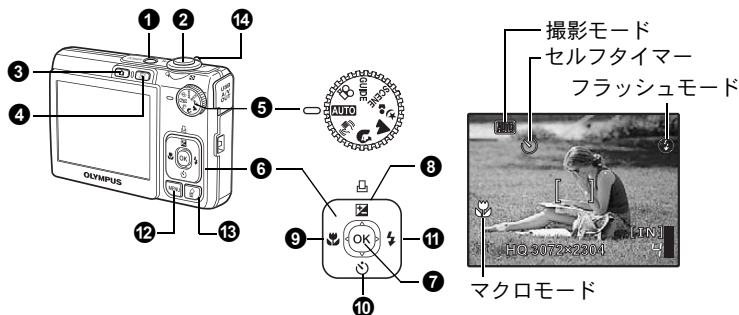
カメラの画像をパソコンに取り込んで保存する方法について説明しています。

もっとカメラのことが知りたいときに 51

困ったときやカメラをもっと知りたいときにご覧ください。

資料 62

カメラを快適に使用する上での注意点や、知っておくと便利なことについて記載しています。

ボタンを使って操作する

❶ POWERボタン　　電源を入れる／切る

電源オン：　撮影モードで電源が入ります。
- レンズが繰り出す
- 液晶モニタ点灯

❷ シャッターボタン　　撮影する

静止画を撮る

モードダイヤルを 以外に合わせ、シャッターボタンを軽く押します（半押し）。ピントと露出が固定されると緑ランプが点灯します（フォーカスロック）。この状態でシャッターボタンを押し込んで（全押し）撮影します。

ピントを固定してから構図を決めて撮る（フォーカスロック）

フォーカスロックのまま撮影したい構図にして、シャッターボタンを押し込んで撮影します。
- 緑ランプが点滅したときは、ピントが適切ではありません。もう一度やり直してください。

ムービーを撮る

モードダイヤルを 🎥 に合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影を始めます。もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了します。

❸ ボタン（撮影）　撮影モードにする／電源を入れる

撮影モードに切り換わります。
電源が入っていない状態で を押すと撮影モードで電源が入るように設定できます。
☞「/　ボタン／ボタンで電源を入れる」（P.31）

❹ ボタン（再生）　再生モードにする／電源を入れる

最後に撮影した画像が表示されます。
- 他の画像を見るときは十字ボタンを押します。
- ズームレバーで表示形式をクローズアップ再生／インデックス再生に切り換えることができます。

電源が入っていない状態で を押すと再生モードで電源が入るように設定できます。
☞「/　ボタン／ボタンで電源を入れる」（P.31）
☞ ムービーの再生「ムービープレイ　ムービーを再生する」（P.25）

❺ モードダイヤル　撮影モードを切り換える

モードダイヤルをそれぞれの位置に合わせ、撮影します。

AUTO カメラまかせで撮影する

カメラが自動的に設定した状態で撮影できます。

ぶれ軽減機能を使って撮影する

撮影時の手ぶれ、被写体のぶれによる画像の揺れを軽減します。

被写体に合わせて撮影する

ポートレート、風景、夜景＆人物が、それぞれ最適の設定で撮影できます。

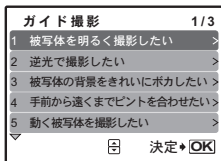
SCENE 被写体に合った撮影シーンで撮影する

撮影状況に合わせた10種類～13種類の撮影シーンから選択します。
OKを押して設定します。

スポーツ／屋内撮影／キャンドル／自分撮り／夕日／打ち上げ花火／ガラス越し／料理／文書／オークション／水中ワイド1※1／水中ワイド2※1※2／水中マクロ※1

- シーン選択画面にサンプル画像と、どのような撮影に適しているか表示されます。
- シーンを決定後、他のシーンに切り換えるときは、**MENU**を押してトップメニューから［SCENE］を選択して、シーン選択画面を表示します。
- 他のシーンに切り換えると、一部の設定を除いて各シーンの初期設定に戻ります。

※1 FE-230/X-790のみ選択できます。別売の防水プロテクターを使って水中撮影をするときに選択します。
※2 ［水中ワイド2］はピントの合う位置が約5mに固定されます。

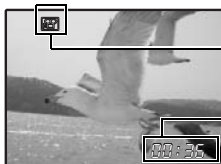
GUIDE 撮影ガイドにしたがって設定する

画面に表示される撮影ガイドにしたがうと、目的の項目を設定できます。

- 再度撮影ガイドを表示するには**MENU**を押します。
- 撮影ガイドを使わずに設定を変更する場合は、別の撮影モードに切り換えてください。
- **MENU**を押したりモードダイヤルを切り換えると、撮影ガイドで設定した内容は初期設定に変わります。

ムービーを撮る

音声を同時に録音します。

- 録音中は、デジタルズームのみ可能です。光学ズームで撮影したい場合は、［ムービー録音］を［オフ］に設定します。

☞「ムービー録音　ムービー撮影時に音声を録音する／しないを設定する」(P.24)

ムービー撮影中は赤く点灯します。

撮影可能時間が表示されます。
0になると撮影は停止します。

❻ 十字ボタン（△▽◁▷）

撮影シーンや再生画面の選択、各種メニューの選択時などに使います。

❼ OKボタン

メニュー項目などの設定を確定するときに使います。

❽ △/ボタン　画像の明るさを変える／画像をプリントする

撮影モード：画像の明るさを変える

撮影モードで△/を押し、◁▷で設定してOKを押します。

• -2.0EV～+2.0EVまで調整できます。

▷：明るくします。
◁：暗くします。

設定内容を確定します。

再生モード：画像をプリントする

再生モードでプリントする画像を表示してプリンタと接続し、△/を押します。

☞「ダイレクトプリント（PictBridge）」（P.34）

❾ ◁ボタン　近接した被写体を撮る

撮影モードで◁を押し、マクロモードを選択します。OKを押して設定します。

OFF	マクロオフ	マクロモードを解除します。
	マクロ	被写体に10cm（FE-230/X-790）/20cm（FE-240/X-795）（ズームが最も広角側にあるとき）／60cm（ズームが最も望遠側にあるとき）まで接近して撮影できます。
S	スーパーマクロ	被写体に5cm（FE-230/X-790）/3cm（FE-240/X-795）まで接近して撮影できます。 ズーム位置は自動的に固定されて変更できません。

⑩ ▽ボタン　セルフタイマー撮影する

撮影モードで▽を押し、セルフタイマーのオン／オフを選択します。
OKを押して設定します。

OFF	セルフタイマーオフ	セルフタイマーを解除します。
	セルフタイマーオン	セルフタイマーを設定します。

- 設定後、シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが約10秒点灯し、さらに2秒間点滅した後、シャッターが切れます。
- 作動中のセルフタイマーを中止するには、▽を押します。
- セルフタイマー撮影は、1回の撮影が終わると自動的に解除されます。

⑪ ▷ボタン　フラッシュ撮影する

撮影モードで▷を押し、フラッシュモードを選択します。
OKを押して設定します。

AUTO	オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
	赤目軽減	予備発光を行い、目が赤くなる現象を軽減します。
	強制発光	フラッシュは必ず発光します。
	発光禁止	暗いところでも発光しません。

⑫ MENUボタン　トップメニューを表示する

トップメニューを表示します。

⑬ ボタン　画像を消去する

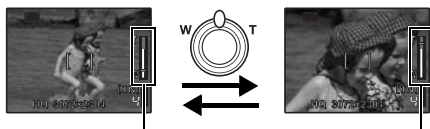
再生モードで消去する画像を表示してを押します。

- 消去した画像は元に戻せません。消去する前に、大切なデータを消さないよう十分に注意してください。

「プロテクト　画像を保護する」（P.26）

撮影モード：被写体を拡大する

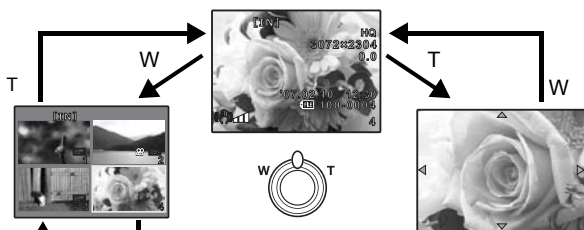
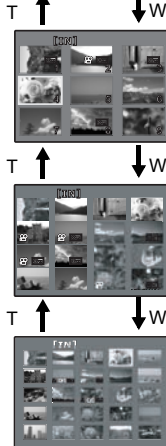
光学ズーム倍率：3倍（FE-230/X-790）／5倍（FE-240/X-795）
デジタルズーム倍率：4倍（光学ズーム×デジタルズーム：最大12倍（FE-230/X-790）／20倍（FE-240/X-795））

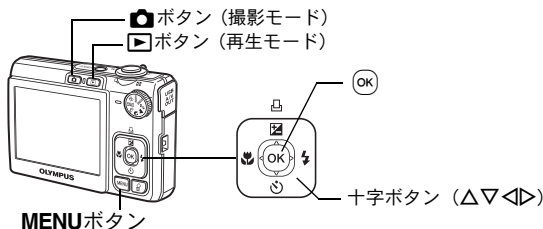
広角：
ズームレバーをW側へ回す

望遠：
ズームレバーをT側へ回す

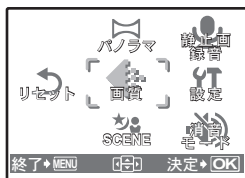
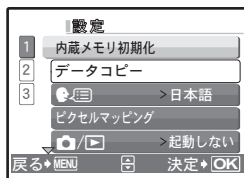
ズームバー

ズームバーの白い部分は光学ズームの領域です。赤い部分にカーソルが入るとデジタルズームが働き、さらに拡大されます。

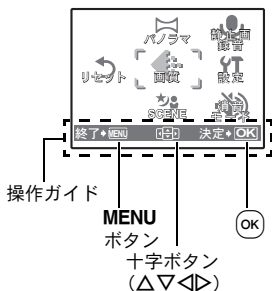
再生モード：画像の表示形式を切り換える

1コマ再生
• 十字ボタンで他の画像を再生します。

インデックス再生
• 十字ボタンで再生する画像を選択して ⓄⓀ を押すと、選択した画像が1コマ再生されます。

クローズアップ再生
• T側へ回し続けると10倍までクローズアップ再生され、W側へ回すと縮小されます。
• クローズアップ再生中に十字ボタンを押すと、その方向に画像がスクロールします。
• 1コマ再生に戻るときは ⓄⓀ を押します。

メニューを使って操作する

メニューの種類と構成

MENUを押すと、液晶モニタにトップメニューが表示されます。
- トップメニューに表示される内容は、モードによって異なります。

設定メニューの項目

- ［再生メニュー］［設定］を選択してOKを押すと、さらにメニュー項目を選択する画面が表示されます。
- モードダイヤルを**GUIDE**に合わせ、撮影ガイドにしたがって設定をしたときは、**MENU**を押すと撮影ガイド画面が表示されます。

操作ガイド

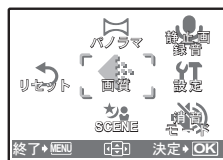
メニュー操作中は、使用するボタンとその機能が液晶モニタの下部に表示されます。ガイドにしたがって操作してください。

戻る➧MENU ：一つ前のメニューに戻ります。
終了➧MENU ：メニューを終了します。
十字ボタン ：十字ボタン（△▽◁▷）を押して選択します。
決定➧OK ：選択している項目を決定します。

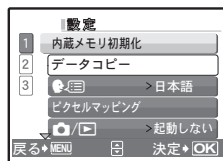
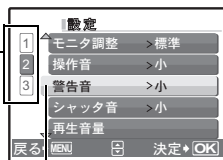
メニューの操作方法

ここでは、[警告音]の設定を例に、メニューの操作方法について説明します。

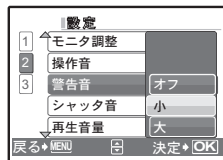
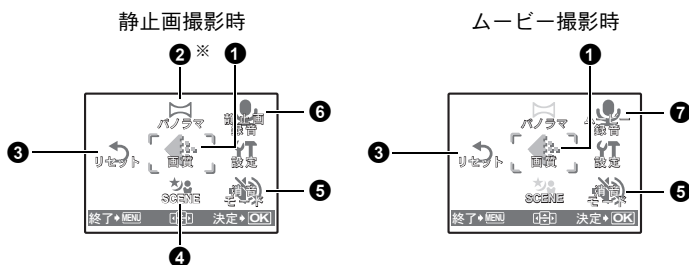
1 モードダイヤルをGUIDE以外に合わせます。

2 MENUを押してトップメニューを表示させます。▷を押して[設定]を選択し、Ⓞを押します。

- [警告音]は[設定]内のメニューです。

3 △▽を押して[警告音]を選択し、Ⓞを押します。

- 設定できない項目は選択できません。
- この画面で◁を押すと、カーソルがページ表示に移動します。△▽を押してページを切り替えることができます。項目選択に戻るときは▷またはⓄを押します。

ページ表示：
次のページにも設定項目がある場合に表示されます。

選択した項目は色が変わって表示されます。

4 △▽を押して[オフ][小][大]から選択し、Ⓞを押します。

- メニュー項目が設定され、一つ前のメニューに戻ります。MENUを繰り返し押してメニューを終了します。
- 変更を取り消してメニュー操作を続けたいときは、Ⓞを押して決定する前にMENUを押します。

撮影に関するメニュー

※ xD-ピクチャーカードが必要です。

- モードダイヤルの位置によっては、選択できないメニュー項目があります。

☞「撮影モード／撮影シーン別設定可能な機能」（P.60）

☞「設定に関するメニュー」（P.30）

- メニュー項目の初期設定は　　　　で示しています。

❶ 画質　　用途に合わせて画質を変更する

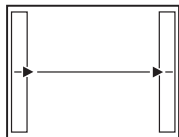
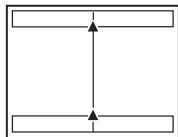
静止画の画質の種類とその用途

画質／画像サイズ		圧縮	使用例
SHQ	3072 × 2304	低圧縮	• A3など大きなサイズできれいにプリントするのに適している。 • パソコンでコントラストの調整や赤目補正などの加工を行うのに適している。
HQ	3072 × 2304	標準圧縮	
SQ1	2048 × 1536	標準圧縮	• A4やはがき大などのサイズでのプリントに適している。 • パソコンで画像上に文字を入力したり、画像の回転などの編集を行うのに適している。
SQ2	640 × 480	標準圧縮	• メールに添付して送信するのに適している。
16:9	1920 × 1080	標準圧縮	• 風景など被写体のワイド感を表現したいときや、ワイドテレビで画像を見るのに適している。

ムービーの画質の種類

画質／画像サイズ	
SHQ	640 × 480
HQ	320 × 240

❷ パノラマ　パノラマ合成用画像を撮影する

OLYMPUS Master（付属のCD-ROMに収録）を使って、パノラマ画像を作成するための撮影をします。撮影には当社製のxD-ピクチャーカードが必要です。

左から右へ画像をつなぐ撮影をする場合

下から上へ画像をつなぐ撮影をする場合

▷：次の画像を右につなげます。
◁：次の画像を左につなげます。
△：次の画像を上につなげます。
▽：次の画像を下につなげます。

十字ボタンでつなげる方向を指定し、被写体の端が重なるように構図を変えながら撮影します。パノラマ撮影時には、前に撮影した位置合わせ用の画像は残りません。画面に表示される枠を目安に画像の位置を覚えておき、枠の中に前に撮影した画像の端が重なるように構図を設定してください。

- 終了するときはOKを押します。
- 最大10枚までパノラマ撮影が可能です。10枚撮り終わると警告マーク（✋）が表示されます。

❸ リセット　撮影機能を初期設定に戻す

中止 ／実行

現在設定されている機能を初期設定に戻します。

メニューを使って操作する

リセット機能を実行したときに設定が元に戻る機能

機能名	初期設定	参照頁
フラッシュ	オート発光	P.18
マクロ	オフ	P.17
露出補正	0.0	P.17
セルフタイマー	オフ	P.18
画質	HQ	P.22
SCENE	スポーツ	P.16
静止画録音	オフ	P.24
ムービー録音	オン	P.24

❹ SCENE（シーン） 被写体に合った撮影シーンを選んで撮影する

シーン選択画面に、サンプル画像とどのような撮影に適しているかが表示されます。モードダイヤルがSCENEのときのみ設定できます。

- 他のシーンに切り換えると、一部の設定を除き、各シーンの初期設定に変わります。

☞「SCENE　被写体に合った撮影シーンで撮影する」（P.16）

❺ 消音モード 操作音などの音を鳴らさない設定にする

オフ ／オン

撮影や再生時の操作音、警告音、シャッター音などの音を鳴らないように設定します。

❻ 静止画録音 撮影時に音声を録音する

オフ ／オン

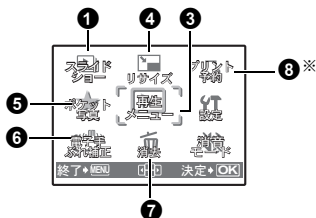
撮影後、自動的に録音がスタートして約4秒間録音します。
録音中は、カメラのマイクを録音する対象に向けてください。

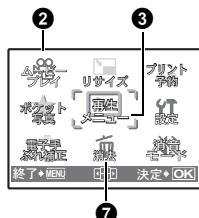
❼ ムービー録音 ムービー撮影時に音声を録音する／しないを設定する

オフ／ オン

- ［オン］（録音する）を設定すると、ムービー撮影時、光学ズームは使用できません。デジタルズームのみ使用できます。

再生に関するメニュー

静止画を選択したとき

※ カードが必要です。

ムービーを選択したとき

☞「設定に関するメニュー」（P.30）
☞「消音モード　操作音などの音を鳴らさない設定にする」（P.24）

- メニュー項目の初期設定は　　　　で示しています。

❶ スライドショー　画像を自動再生する

OKを押すとスライドショーがスタートします。

- ムービーコマは、最初のフレームのみが静止画と同じように再生されます。
- スライドショーを中止するときは、OKを押します。

❷ ムービープレイ　ムービーを再生する

トップメニューから［ムービープレイ］を選択しOKを押すと、ムービーが再生されます。ムービーアイコン（🎥）のついている画像を選択し、OKを押して再生することもできます。

ムービー再生中の操作

再生時間／録画時間

△：音量を大きくします。
▽：音量を小さくします。

▷：押している間、早送りをします。
◁：押している間、巻き戻しをします。

- ⓞⓚを押すと一時停止します。

一時停止中の操作

△：先頭のコマを表示します。
▽：末尾のコマを表示します。

▷：押している間、再生します。
◁：押している間、逆再生します。

- ムービーを再開するときは、ⓞⓚを押します。

- ムービー再生中、または一時停止中にムービーの再生を中止するときは、**MENU**を押します。

❸ 再生メニュー

プロテクト.. **画像を保護する**

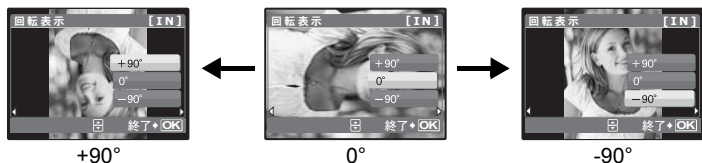
オフ	／オン

プロテクトされた画像は［1 コマ消去］［選択消去］［全コマ消去］では消去できませんが、初期化を行うとすべて消去されます。

- ◁▷ で画像を選択し、プロテクトするときは △▽ で［オン］を選択します。続けて複数のコマをプロテクトすることができます。

回転表示.. 画像を回転させる

+90° ／	0°	／-90°

カメラを縦に構えて撮影した画像は、横向きに表示されます。このような横向きの画像を回転して縦向きに表示します。電源を切っても、画像が回転された状態は保持されます。

+90° 0° -90°

◁▷で画像を選択し、回転表示するときは△▽で［90°］／［0°］／［-90°］を選択します。続けて複数のコマを回転表示することができます。

録音 .... 撮った画像に音声を録音する

実行	／中止

音声は約4秒間録音できます。

- ◁▷ で画像を選択し、録音するときは △▽ で［実行］を選択します。
- 録音中を示すバーが表示されます。

❹ リサイズ 撮った画像のサイズを変更する

640 × 480	／320 × 240

静止画の画像サイズを変更し、別の画像として保存します。

❺ ポケット写真　気に入った画像を見る・登録する

気に入った静止画を別の画像として登録・再生します。
最大で9枚の画像を登録できます。

- 登録した画像は、初期化を行なっても消去されません。

☞「ポケット写真に登録した画像を消去するには」（P.28）

ご注意

- 登録した画像の編集、印刷、カードへのコピー、パソコンへの転送、パソコンでの再生はできませんので、ご注意ください。

見る ………………………… 登録した画像を見る

- ［見る］を選択すると、ポケット写真に登録した画像が表示されます。十字ボタンで他の画像を再生することができます。
- **MENU**を押して、［ポケット写真追加］または［スライドショー］を選択することができます。

ポケット写真追加	気に入った画像を追加登録します。 • ◁▷で画像を選択し、OKを押します。
スライドショー	登録した画像を自動再生します。 • スライドショーを中止するときは、OKを押します。
ポケット写真終了	通常の再生に切り換えます。

ポケット写真に登録した画像を消去するには

消去／	中止

- 十字ボタンで消去する画像を表示して、🗑を押します。［消去］を選択し、OKを押します。
- ポケット画像に登録した画像を消去しても、内蔵メモリまたはカードに記録されている元の画像は消去されません。

登録 ………………………… 気に入った画像を登録する

- ◁▷で画像を選んでOKを押します。

❻ 電子手ぶれ補正　撮った画像のぶれを補正する

実行／中止

撮影した画像がぶれていた場合、ぶれを補正して別の画像として保存します。

- ◁▷で画像を選択し、ぶれを補正するときは△▽で［実行］を選択します。
- 補正済みの画像やぶれのない画像を表示したときは［実行］を選択できません。
- 画像によっては補正効果が得られない場合があります。
- ムービーや他のカメラで撮影した画像、編集した画像は補正できません。

❼ 消去　画像を選んで消去する／すべて消去する

プロテクトされている場合は消去できません。画像のプロテクトを解除してから消去してください。また、消去した画像は元に戻せません。消去する前に大切なデータを消さないように十分に注意してください。

- 内蔵メモリの画像を消去するときは、カードをカメラに入れないでください。
- カード内の画像を消去するときは、あらかじめカードをカメラに入れてください。

選択消去……1コマずつ選んで消去する

- 十字ボタンで画像を選んで OK を押して ✓ を付けます。
- 再度 OK を押すと選択が解除されます。
- 選択が終了したら 🗑 を押します。
- ［消去］を選択し、OK を押します。

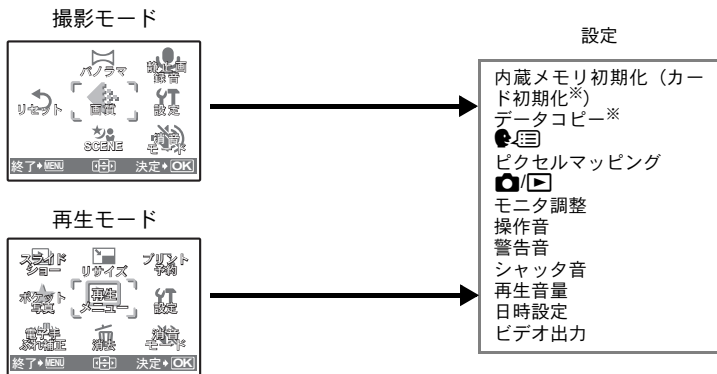
全コマ消去……内蔵メモリ／カードの画像をすべて消去する

- ［消去］を選択し、OK を押します。

❽ プリント予約　プリント予約（DPOF）する

カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記録させます。

☞「プリント予約（DPOF）」（P.39）

設定に関するメニュー

※ カードが必要です。

- モードダイヤルの位置によっては、選択できないメニュー項目があります。

☞「撮影モード／撮影シーン別設定可能な機能」（P.60）

内蔵メモリ初期化（カード初期化） .... **内蔵メモリ／カードを初期化する**

初期化するとプロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。初期化するときは大切なデータが記録されていないことを確認してください。

- 内蔵メモリを初期化する場合は、カードを入れないでください。
- カードを初期化する場合は、あらかじめカードを入れてください。
- 当社製以外のカードやパソコンで初期化したカードを使用する場合は、必ずこのカメラで初期化しなおしてください。

データコピー .... **内蔵メモリの画像をカードにコピーする**

別売のカードをカメラに入れてください。データコピーをしても内蔵メモリ内の画像は消去されません。

- データコピーは時間がかかります。実行前に電池の残量が充分にあることを確認してください。

[言語アイコン] .... **表示する言語を切り換える**

液晶モニタのメニュー表示やエラーメッセージを日本語でなく、他の言語にすることができます。日本語に戻すこともできます。
OLYMPUS Masterを使って、表示する言語を増やすことができます。

ピクセルマッピング .... 画像処理機能を調整する

CCDと画像処理機能のチェックと調整を同時に行います。この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。調整は、年に一度を目安とし、最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けて実行します。処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。
［ピクセルマッピング］を選択して［スタート］が表示されたら、Ⓞⓚを押します。

📷/▶ .... 📷ボタン／▶ボタンで電源を入れる

起動する／ 起動しない

📷または▶を押して、カメラの電源を入れるようにすることができます。

モニタ調整 .... 液晶モニタの明るさを調整する

明るい／ 標準

操作音 .... ボタンを押したときの操作音の音量を調整する

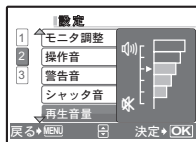
オフ（無音）／ 小 ／大

警告音 .... カメラの警告音の音量を調整する

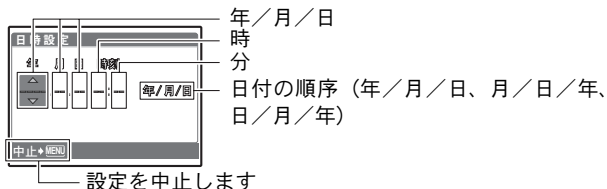
オフ（無音）／ 小 ／大

シャッタ音 .... シャッターボタンを押したときの音量を調整する

オフ（無音）／ 小 ／大

再生音量 .... 画像を再生するときの音量を調整する

- △▽を押して音量を調整します。
- オフ、1～5の5段階に調整することができます。

日時設定 .... 日付・時刻を設定する

日時の情報は画像とともに記録され、日時の情報をもとにファイル名が付けられます。日時を設定しないと、電源を入れるたびに[日時設定]画面が表示されます。

- 「年」の上2桁は固定されています。
- カメラの時間表示は24時間表示です。
- カーソルが「分」または「年／月／日」のときに0秒の時報に合わせてOKを押すと、正確に時間を合わせられます。

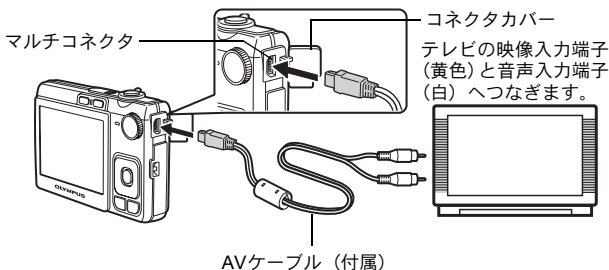
ビデオ出力 .... テレビで再生するときの設定をする

NTSC	／PAL

カメラの画像をテレビで再生するためにお使いのテレビの映像信号に合わせて設定します。

- 主な国と地域のテレビ映像信号は次のとおりです。カメラをテレビに接続する前に、あらかじめご確認ください。
  NTSC：日本、北米、台湾、韓国
  PAL：ヨーロッパ諸国、中国

テレビで再生するとき

カメラとテレビの電源を切って接続します。

カメラ側の設定

カメラの電源を入れて ▶ を押して再生モードにします。

- 最後に撮影した画像がテレビに表示されますので、十字ボタンで表示する画像を選択します。

テレビ側の設定

テレビの電源を入れて［ビデオ入力］に設定します。

- ビデオ入力の設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。

ダイレクトプリント（PictBridge）

ダイレクトプリントについて

カメラをPictBridge対応プリンタに接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。カメラの液晶モニタを見ながら操作します。
お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でお確かめください。

PictBridgeとは
異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

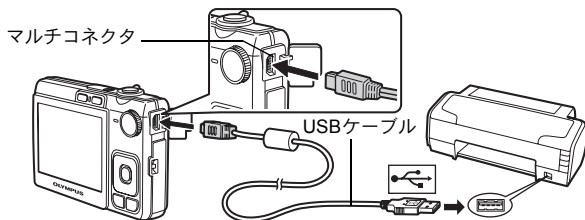
- 使用できるプリントモード、用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって選択できる項目が異なる場合があります。プリンタの取扱説明書をご覧ください。
- プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

かんたんプリント

［かんたんプリント］の機能を使って、液晶モニタで表示している画像を1枚プリントします。
画像を1枚、お使いのプリンタの標準設定でプリントします。日付やファイル名はプリントされません。

標準設定とは
PictBridge対応プリンタには、それぞれプリント条件の標準設定があります。各設定画面（P.37）で［凸標準設定］を選択すると、この設定にしたがってプリントされます。標準設定の内容については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧になるか、プリンタメーカーにおたずねください。

1 再生モードで、プリントしたい画像を液晶モニタに表示します。

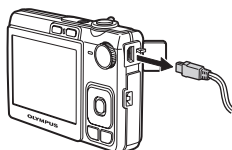
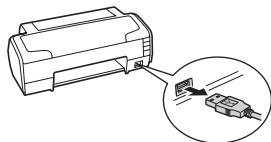
2 プリンタの電源を入れて、カメラ付属のUSBケーブルでカメラのマルチコネクタとプリンタのUSBポートを接続します。

- かんたんプリント開始の画面が表示されます。
- プリンタの電源の入れ方およびUSB端子の位置は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

3 △/⎍を押します。

- プリントが開始されます。

- プリントが終わると画像選択の画面が表示されます。別の画像をプリントするときは、◁▷を押して画像を選択し、△/⎍を押します。
- 終了するときは、画像選択の画面が表示された状態でカメラからUSBケーブルを抜きます。

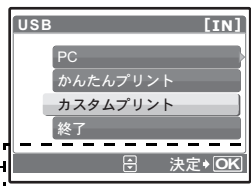
4 カメラからUSBケーブルを抜きます。

プリントする

5 プリンタから USB ケーブルを抜きます。

カメラの電源を切った状態または撮影モードでも［かんたんプリント］をすることができます。電源オフの状態または撮影モードでUSBケーブルを接続すると、USBケーブルの接続先の選択画面が表示されますので［かんたんプリント］を選択します。

☞「かんたんプリント」手順3（P.35）、「その他のプリントモードとプリント設定」手順2（P.36）

その他のプリントモードとプリント設定（カスタムプリント）

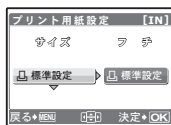
1 P.34～P.35の手順1、2にしたがい右の画面を表示して OK を押します。

2 ［カスタムプリント］を選択し、OK を押します。

3 操作ガイドにしたがってプリントの各設定をします。

プリントする

プリントモードを選ぶ

プリント	選択した画像をプリントします。
全コマプリント	内蔵メモリまたはカードの中の全画像をプリントします。
マルチプリント	1 枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。
全コマインデックス	内蔵メモリまたはカードの中の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。
予約プリント	プリント予約の内容にしたがってプリントします。プリント予約された画像が無いときは、選択できません。☞「プリント予約（DPOF）」（P.39）

プリント用紙を設定する

サイズ	お使いのプリンタで使用できる用紙サイズから選択できます。
フチ	フチの有無を選択できます。マルチプリントモードの場合、フチの選択はありません。
有り（▣）	用紙の周辺に余白をつけてプリントします。
無し（□）	用紙いっぱいにプリントします。
分割数	マルチプリントモードの場合のみ選択できます。分割数はお使いのプリンタの種類によって異なります。

ご注意

- ［プリント用紙設定］画面が表示されない場合、［サイズ］と［フチ］、または［分割数］の設定は標準設定になります。

プリントする画像を選ぶ

プリント	表示している画像が1枚プリントされます。［1枚予約］または［詳細予約］されているときは予約の内容でプリントされます。
1枚予約	表示している画像をプリント予約します。
詳細予約	表示している画像のプリント枚数やプリントする情報を設定します。

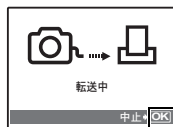
◁▷を押してプリントする画像を選択します。ズームレバーを回してインデックス表示して選択することもできます。

プリント枚数とプリントする情報を設定する

プリント枚数	プリント枚数を設定します。枚数は10枚まで設定できます。
日付（◷）	［有り］を選択すると、画像に日付がプリントされます。
ファイル名（FILE）	［有り］を選択すると、画像にファイル名がプリントされます。

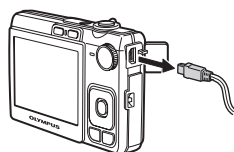
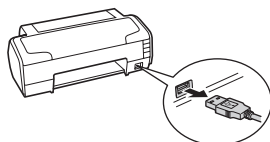
4 ［プリント］を選択し、OKを押します。

- プリントが開始されます。
- プリントが終了すると［プリントモード選択］画面が表示されます。

プリントを途中で中止するには

データ転送中の画面

5 ［プリントモード選択］画面で、**MENU** を押します。

- メッセージが表示されます。

6 カメラからUSBケーブルを抜きます。

7 プリンタから USB ケーブルを抜きます。

プリントする

プリント予約（DPOF）

プリント予約とは

プリント予約とは、カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。
プリント予約をすると、DPOF対応のプリンタやDPOF対応のプリントショップで簡単にプリントすることができます。DPOFとは、デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するための規格です。

プリント予約は、カードに記録された画像にのみ設定することができます。あらかじめ画像が記録されているカードをカメラに入れてください。

プリント予約した画像は以下の方法でプリントできます。

DPOF対応のプリントショップでプリントする

予約されている内容にしたがってプリントできます。

DPOF対応のプリンタでプリントする

パソコンを使わずに、専用プリンタから直接プリントできます。詳しくはお使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。PCカードアダプタが必要な場合もあります。

ご注意

- 他のDPOF機器で設定されたDPOF予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。また、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- DPOF予約で予約できる枚数は、1枚のカードにつき999枚です。
- プリンタまたはプリントショップにより、一部機能が制限されることがあります。

DPOFを使用せずにプリントサービスを利用される方へ

- 内蔵メモリの画像をプリントショップでプリントすることはできません。カードにコピーしてプリントショップへお持ちください。☞「データコピー　内蔵メモリの画像をカードにコピーする」（P.30）
- プリントショップなどのプリントサービスをご利用になる場合は、プリントする画像は必ずファイル番号で指定してください。コマ番号で指定すると間違った画像がプリントされる場合があります。
  ファイル番号は、画像を再生したときに、約3秒間表示されます。

（例）FILE 100—0004
フォルダの通し番号　画像の通し番号

ファイル番号

1コマ予約する

操作ガイドにしたがって1枚の画像をプリント予約してみましょう。

1 再生モードで**MENU**を押して、トップメニューを表示します。

2 ［プリント予約］▶［1コマ予約］の順で選択し、(OK)を押します。

操作ガイド

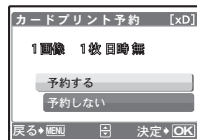
3 ◁▷ を押してプリント予約したいコマを選択し、△▽を押してプリント枚数を設定します。

- 🎥のついた画像はプリント予約できません。
- 複数の画像をプリント予約する場合は、手順3を繰り返します。

4 プリント予約が終わったら(OK)を押します。

5 日時の種類を選択し、(OK)を押します。

無し　画像のみプリントされます。
日付　画像と撮影年月日がプリントされます。
時刻　画像と撮影時刻がプリントされます。

日時プリント [xD]
無し
日付
時刻
戻る MENU　決定 OK

6 ［予約する］を選択し、(OK)を押します。

全コマ予約する

カード内の全画像をプリント予約します。プリント枚数は1枚固定です。

1 再生モードで**MENU**を押して、トップメニューを表示します。

2 ［プリント予約］▸［全コマ予約］の順で選択し、OKを押します。

3 日時の種類を選択し、OKを押します。

無し　画像のみプリントされます。
日付　すべての画像に撮影年月日がプリントされます。
時刻　すべての画像に撮影時刻がプリントされます。

4 ［予約する］を選択し、OKを押します。

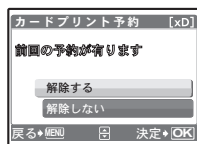
プリント予約を解除する

すべてのプリント予約を解除する方法と、選択した画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

1 トップメニュー▸［プリント予約］の順で選択し、OKを押します。

すべての予約を解除する

2 ［1コマ予約］または［全コマ予約］を選択し、OKを押します。

3 ［解除する］を選択し、OKを押します。

1コマずつ予約を解除する

2 ［1コマ予約］を選択し、OKを押します。

3 ［解除しない］を選択し、OKを押します。

4 ◁▷を押してプリント予約を解除したいコマを選択し、▽でプリント枚数を0に設定します。

- 複数の画像のプリント予約を解除する場合は、手順4を繰り返します。

5 プリント予約の解除が終わったらOKを押します。

6 日時の種類を選択し、OKを押します。

- プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。

7 ［予約する］を選択し、OKを押します。

OLYMPUS Masterを使う

操作の流れ

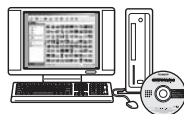
カメラをパソコンにUSBケーブルで接続して、カメラの内蔵メモリまたはカードに保存されている画像を付属のOLYMPUS Masterを使ってパソコンに取り込みます。

手順	参照
OLYMPUS Masterをインストールする	☞P.43
▼	
付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続する	☞P.46
▼	
OLYMPUS Masterを起動する	☞P.47
▼	
画像をパソコンに保存する	☞P.48
▼	
カメラをパソコンから取り外す	☞P.48

付属のOLYMPUS Masterを使う

OLYMPUS Masterとは

OLYMPUS Masterはデジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむためのアプリケーションソフトウェアです。パソコンにインストールすると、以下のようなことができます。

- **カメラやメディアから画像を取り込む**
- **画像を見る・ムービーを見る**
  - スライドショーを楽しんだり、サウンドを再生することもできます。
- **画像を整理・管理する**
  - アルバム、またはフォルダで画像を整理できます。取り込んだ画像は撮影日時で自動的に整理され、日付によって画像をすばやくみつけることができます。
- **画像を編集する**
  - 画像の回転や反転、トリミング、サイズ変更などの編集ができます。
- **フィルタ機能、補正機能で画像を補正する**

- **プリンタを使ってプリントする**
  - 簡単な操作でプリントできます。
- **パノラマ写真を作る**
  - パノラマモードで撮った画像を使ってパノラマ写真を作成します。
- **カメラのバージョンアップをする**

その他の機能や操作方法については、OLYMPUS Masterの「ヘルプ」をご覧ください。

OLYMPUS Masterをインストールする

お使いのパソコンのOSをご確認の上、インストールしてください。
新しいOSへの対応についてはオリンパスホームページ(http://www.olympus.co.jp)でご確認ください。

動作環境について

Windows

OS	Windows 2000 Professional/XP Home Edition/ XP Professional/Vista
CPU	Pentium III 500MHz以上
RAM	256MB以上
HDDの空き容量	500MB以上
モニタ	1024 × 768ドット以上 65,536色以上（1,677万色以上推奨）
その他	USBポートまたはIEEE 1394ポート Internet Explorer 6以上 QuickTime 7以上推奨 DirectX 9以上推奨

ご注意

- **Windows 98/98SE/Meには対応していません。**
- OSがプリインストールされているパソコンをご使用ください。自作パソコンや、OSをアップデートしたパソコンの動作は保証されません。
- 増設USBポート、増設IEEE 1394ポートを使用した場合の動作は保証されません。
- インストール時は、管理者権限（Administrator）が必要です。

Macintosh

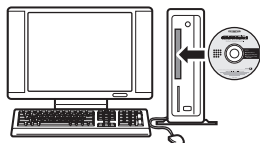
OS	Mac OS X v10.3以上
CPU	Power PC G3 500MHz以上 Intel Core Solo/Duo 1.5GHz以上
RAM	256MB以上
HDDの空き容量	500MB以上
モニタ	1024 × 768ドット以上 32,000色以上（1,677万色以上推奨）
その他	USBポートまたはIEEE 1394（FireWire）ポート Safari 1.0以上（1.3以上推奨） QuickTime 6以上

ご注意

- **Mac OS X 10.3より前のバージョンには対応していません。**
- 増設USBポート、増設IEEE 1394（FireWire）ポートを使用した場合の動作は保証されません。
- インストール時は、管理者権限（Administrator）が必要です。
- 次の操作を行う時は、必ずメディアを取り出す手順（ゴミ箱にドラッグ＆ドロップ）を先に行ってください。この手順を行わずに操作すると、パソコン動作が不安定になり、再起動が必要となる場合があります。
  - カメラとパソコンの接続ケーブルを抜く
  - カメラの電源を切る
  - カメラの電池／カードカバーを開ける

Windowsの場合

1 CD-ROM ドライブに CD-ROM を入れます。

- OLYMPUS Masterセットアップ画面が表示されます。
- 表示されない場合は、「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、CD-ROM アイコンをクリックしてください。

2 表示言語を選択し､｢OLYMPUS Master 2 インストール｣ボタンをクリックします。

- コンポーネントのインストール画面が表示された場合には、「OK」ボタンをクリックしてください。

3 ｢次へ｣ ボタンをクリックし、画面のメッセージに沿って操作を行います。

- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「はい」ボタンをクリックします。

4 ユーザー情報入力画面が表示されたら、｢名前｣ を入力し、｢地域｣ を選択して ｢次へ｣ ボタンをクリックします。

5 **セットアップ タイプ選択画面が表示されたら、「インストールを実行」ボタンをクリックします。**

- インストール内容を選択したい方は「カスタム」を選択できます。

- インストールが始まります。セットアップ完了画面が表示されたら「閉じる」ボタンをクリックします。
- 続いて、OLYMPUS muveeシアターパック体験版のインストールを行うかどうか確認する画面が表示されます。インストールする場合は「インストールを実行」ボタンをクリックします。

Macintoshの場合

1 **CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。**

- CD-ROMのウィンドウが表示されます。
- 表示されない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリックします。

2 **「Setup」アイコンをダブルクリックします。**

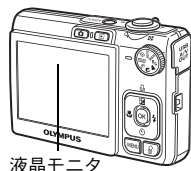
- OLYMPUS Masterのインストール画面が表示されます。
- 画面のメッセージに沿って操作を行ってください。
- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「続ける」ボタン、「同意します」ボタンをクリックします。

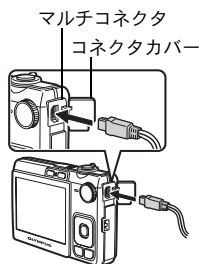
- インストール完了画面が表示されます。

- OLYMPUS Masterを起動する前に、お使いのパソコンを再起動する必要があります。

カメラをパソコンに接続する

1 カメラの電源が入っていないことを確認します。

- 液晶モニタが消灯している。
- レンズが出ていない。

2 カメラ付属の USB ケーブルでパソコンの USB ポートとカメラのマルチコネクタを接続します。

- USB ポートの位置はお使いのパソコンの取扱説明書でご確認ください。
- 自動的にカメラの電源が入ります。
- カメラの液晶モニタが点灯し、USB ケーブルの接続先の選択画面が表示されます。

3 ［PC］を選択し、OK を押します。

4 パソコンがカメラを新しい機器として認識します。

- **Windowsの場合**
  はじめてカメラとパソコンを接続したときは、パソコンがカメラを認識する動作を自動的に行います。設定終了のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてメッセージを終了してください。カメラは「リムーバブルディスク」として認識されます。
- **Macintoshの場合**
  画像ファイルは通常iPhotoというアプリケーションで管理されます。はじめてカメラを接続するとiPhoto が起動しますので、iPhoto を終了させOLYMPUS Masterを起動してください。

ご注意

- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- USB ハブを経由してカメラを接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合は、ハブを使用しないでください。
- 手順 3 で［PC］を選択して ▷ を押し、［MTP］を選択した場合、OLYMPUS Masterを使用してパソコンへ画像を転送することはできません。

OLYMPUS Masterを起動する

Windowsの場合

1 デスクトップの「OLYMPUS Master 2」アイコン をダブルクリックします。

Macintoshの場合

1 「OLYMPUS Master 2」フォルダ内の「OLYMPUS Master 2」アイコン をダブルクリックします。

- ブラウズウィンドウが表示されます。
- OLYMPUS Masterをインストールして初めて起動すると、ブラウズウィンドウの前にOLYMPUS Masterの初期設定画面とユーザー登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。

OLYMPUS Masterを終了するには

1 各ウィンドウで「閉じる」☒ をクリックします。

- OLYMPUS Masterが終了します。

カメラの画像をパソコンで表示する

取り込んで保存する

1 ブラウズウィンドウで「取り込み」をクリックして、「カメラから取り込み」をクリックします。

- カメラから取り込みウィンドウが表示されます。カメラ内のすべての画像が一覧表示されます。

2 「新規アルバム」を選択して、アルバムの名前を入力します。

3 画像ファイルを選択し、「取り込み」ボタンをクリックします。

- 取り込み完了のメッセージが表示されます。

4 「今すぐ画像を見る」ボタンをクリックします。

- ブラウズウィンドウに取り込んだ画像が表示されます。

カメラを取り外すには

1 カードアクセスランプの点滅が終了していることを確認します。

カードアクセスランプ

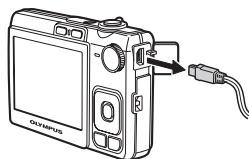
2 USBケーブルを抜く準備をします。

Windowsの場合

① システムトレイに表示されている「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。
② 表示されたメッセージをクリックします。
③「デバイスは安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

Macintoshの場合

① デスクトップの「名称未設定」（または「NO_NAME」）アイコンをドラッグすると「ゴミ箱」アイコンが「取り出し」アイコンに変わりますので、そのまま「取り出し」アイコンの上にドロップしてください。

3 カメラからUSBケーブルを抜きます。

ご注意

- Windowsの場合：「ハードウェアの取り外し」をクリックした際、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないこと、またカメラの画像ファイルを開いていたアプリケーションが起動していないことを確認してください。確認後、「ハードウェアの取り外し」の操作を再度行い、その後ケーブルを外してください。

静止画／ムービーを見る

1 **ブラウズウィンドウの「アルバム」タブをクリックし、見たいアルバムを選択します。**

- 選択したアルバムの画像がサムネイルエリアに表示されます。

2 **見たい静止画のサムネイルをダブルクリックします。**

- 画像編集ウィンドウに切り換わり、画像が拡大されます。
- 「戻る」をクリックすると、ブラウズウィンドウに戻ります。

ムービーを見るには

1 ブラウズウィンドウで見たいムービーのサムネイルをダブルクリックします。

- 画像編集ウィンドウに切り換わり、ムービーの1コマ目が表示されます。

2 ムービー表示部下側の「再生」▶をクリックするとムービーが再生されます。

OLYMPUS Masterを使用せずにパソコンに画像を取り込んで保存する

このカメラはUSBストレージクラスに対応しています。OLYMPUS Masterを使用せずに付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、画像を取り込んで保存することもできます。接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。

Windows：Windows 98SE/Me/2000 Professional/XP Home Edition/
XP Professional/Vista

Macintosh：Mac OS 9.0—9.2/X

ご注意

- Windows 98SEをお使いの場合は、USBドライバのインストールが必要です。カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する前に、付属のOLYMPUS Master CD-ROMの、以下のフォルダのファイルをダブルクリックしてください。
  （お使いのパソコンのドライブ名）：¥win98usb¥INSTALL.EXE
- Windows Vistaをお使いの場合は、46ページの手順3で［PC］を選択して▷を押し、［MTP］を選択することでWindows フォト ギャラリーが使用できます。
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
  - Windows 95/98/NT 4.0
  - Windows 95/98からアップグレードしたWindows 98SE
  - Mac OS 8.6以前
  - 拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン
  - 工場出荷時にOSがインストールされていないパソコンおよび自作パソコン

こんなときは?

撮影前、こんなときは

電池を入れてもカメラが動かない

電池が充電されていない

- 充電器で電池を充電してください。

低温下にあり、一時的に電池の性能が低下した

- 電池は低温下にあると性能が低下して、カメラを動かすための十分な充電量が確保できない場合があります。カメラから電池を一度取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

シャッターボタンを押しても撮影ができない

カメラがスリープモードに入っていた

- カメラは電源オンの状態で、何も操作しないとスリープモードと呼ばれる省電力状態に入り、液晶モニタは自動的に消灯します。この状態でシャッターボタンを全押ししても撮影できません。ズームレバーやその他のボタンを操作して、カメラをスリープモードから復帰させてから撮影しましょう。さらに12分放置すると、カメラは電源オフの状態になります。**POWER**を押して電源を入れてください。

モードダイヤルがGUIDEの位置にある

- 撮影ガイド表示中は撮影できません。ガイドにしたがって項目を設定後撮影するか、モードダイヤルをまわして、**GUIDE**以外の撮影モードにしましょう。

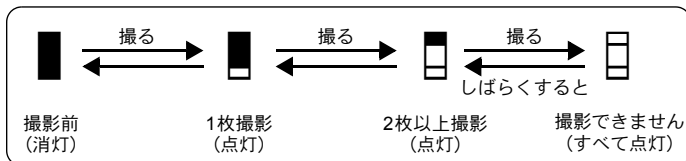
フラッシュが充電中である

- ⚡（フラッシュ充電）マークの点滅が終わってから、もう一度シャッターボタンを押してください。

カメラの内部温度が高くなった

- 長時間使用を続けると、カメラの内部温度が上がり、自動的に動作を停止する場合があります。電池を取り出して、カメラが冷えるまでしばらく待ってから撮影しましょう。また、使用中にカメラの外側の温度も上がりますが、故障ではありません。

液晶モニタのメモリゲージがすべて点灯している

- すべて点灯している間は、撮影できません。メモリゲージの一番上が消灯するまでお待ちください。

日時設定がされていない

購入時のままで使用している

- お買い上げ時のカメラの状態では日時設定はされていません。日時設定をしてからご使用ください。

☞「日時を設定する」（P.6）、「日時設定　日付・時刻を設定する」（P.32）

カメラから電池を抜いていた

- 電池を抜いた状態で約3日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります（当社試験条件による）。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には日時の設定が正しいことを確認してください。

こんな撮影がしたい

狙ったものにピントを合わせたい

被写体の種類によっていくつかの方法があります。

被写体が画面の中央にない

- 被写体を中央においてフォーカスロックをしてから撮影する構図を決めます。

☞「シャッターボタン　撮影する」(P.14)

被写体の動きが早い

- 撮影しようとする位置とほぼ同じ距離のものでピントを合わせ（シャッターボタン半押し）、そのまま撮影する構図に移して被写体を待ちます。

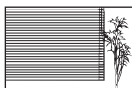
☞「SCENE　被写体に合った撮影シーンで撮影する」(P.16)

オートフォーカスの苦手な被写体

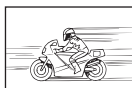
- 次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。液晶モニタの緑ランプの表示で確認することができます。

緑ランプ点滅
このようなものにはピントが合いません。

コントラストがはっきりしない被写体

画面中央に極端に明るいものがある場合

縦線のないもの

緑ランプは点灯するが、写したいものにピントが合わない。

遠いものと近いものが混在する場合

動きの速いもの

ピントを合わせたいものが中央にない

いずれの場合も、被写体と同距離にあるコントラストのはっきりとしたものでピントを合わせた後、構図を決めて撮影してください。また、縦線のない被写体の場合は、カメラを縦位置に構えてピントを合わせた後、構図を横に戻して撮影しても効果的です。

ぶれない写真を撮りたい

カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押して撮影してください。また、(手ぶれ)モードで撮影すると、ぶれが軽減されます。
写真がぶれる理由は、次の場合が考えられます。

- 高倍率のズームで撮影するとき
- 被写体が暗くシャッター速度が遅いとき
- フラッシュが使用できない、またはシャッター速度が遅くなる撮影モードを設定しているとき

ぶれた画像は、あとから電子手ぶれ補正をすることもできます。

☞「電子手ぶれ補正　撮った画像のぶれを補正する」(P.29)

フラッシュを発光させずに撮りたい

明るさが不足して手ぶれが発生する場合は、フラッシュが自動的に光ります。暗い場所でフラッシュを発光させずに撮りたいときは、フラッシュモードを［⊘］（発光禁止）に設定してください。

撮影した写真が粗い

撮影した写真が粗く見える理由はいくつかあります。

デジタルズームを使って拡大して撮影した

- デジタルズームは画像の一部を切り出して拡大しています。拡大するほど画像の粗さが目立ちます。

モードダイヤルの夜景ポートレート、SCENEモードのキャンドル、夕日、花火で撮影した

- 上記のシーンで撮影すると、被写体が暗いときに画像が粗くなることがあります。

白い砂浜や雪景色をきれいな白で撮りたい

- 通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、［±］で［+］に補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆に［−］に補正すると効果的です。ただし、フラッシュを使用すると意図した明るさ（露出）で撮影できないことがあります。

☞「△±/凸ボタン　画像の明るさを変える／画像をプリントする」(P.17)

逆光でも人物の顔が暗くならないように撮りたい

- フラッシュモードを［⚡］（強制発光）に設定して、フラッシュを必ず発光させて撮影します。逆光でも顔が暗くならず撮影できます。逆光以外の場合でも、蛍光灯などの人工照明下での撮影時にも［⚡］は有効です。

☞「▷⚡ボタン　フラッシュ撮影する」(P.18)

撮影できる枚数を多くしたい

このカメラで撮影した画像を記録する方法は2つあります。

内蔵メモリに記録する

- 撮影をして撮影可能枚数が 0 になったら、カメラをパソコンなどに接続して画像を保存し、内蔵メモリの画像を消去する必要があります。

カード（xD-ピクチャーカード）を使う（別売）

- カメラにカードを挿入しているとき、画像はカードに記録されます。カードの空き容量がなくなったら、画像をパソコンに保存してカードの画像を消去するか、新しいカードを使います。
- カメラにカードを挿入しているとき、内蔵メモリは使えません。内蔵メモリの画像は、［データコピー］の機能を使ってカードにコピーすることができます。

☞「データコピー　内蔵メモリの画像をカードにコピーする」（P.30）
「カードについて」（P.64）

内蔵メモリとカードの撮影可能枚数／撮影可能時間

静止画

画質	画像サイズ	撮影可能枚数			
		内蔵メモリ		カード（512MBの場合）	
		音声あり	音声なし	音声あり	音声なし
SHQ	3072 × 2304	3枚	3枚	98枚	99枚
HQ	3072 × 2304	11枚	11枚	287枚	293枚
SQ1	2048 × 1536	25枚	26枚	626枚	652枚
SQ2	640 × 480	98枚	116枚	2457枚	2904枚
16:9	1920 × 1080	27枚	29枚	694枚	726枚

ムービー

画質	画像サイズ	撮影可能時間			
		内蔵メモリ		カード（512MBの場合）	
		音声あり	音声なし	音声あり	音声なし
SHQ	640 × 480（30コマ／秒）	11秒	11秒	4分42秒	4分43秒
HQ	320 × 240（30コマ／秒）	30秒	30秒	12分42秒	12分53秒

- ［画質］を［SHQ］に設定している場合、TypeHのカード以外は連続して撮影できる時間が最大15秒になります。

新しいカードを使いたい

- オリンパス製以外のカードを使うときや、パソコンなどで他の用途に使用したカードをカメラに入れると、［このカードは使用できません］と表示されることがあります。その場合は、［カード初期化］の機能を使ってカードを初期化してください。

☞「内蔵メモリ初期化（カード初期化） 内蔵メモリ／カードを初期化する」（P.30）

ランプの意味を知りたい

カメラの状態を知らせるためのランプがいくつかあります。

ランプ	状態
セルフタイマーランプ	約10秒間点灯後、約2秒間点滅：シャッターが切れる（撮影される）
カードアクセスランプ	点灯（赤色）：撮影モード 点灯（緑色）：再生モード 消灯：電源オフ 点滅（赤色）：画像の記録中／画像の読み出し中／画像の取り出し中（パソコン接続時） • カードアクセスランプの点滅中は、絶対に以下のことをしないでください。撮影した画像が保存されないだけでなく、内蔵メモリまたはカードが破壊され使用できなくなる場合があります。 　• 電池／カードカバーを開ける 　• 電池を取り外す
液晶モニタの緑ランプ	点灯：ピントと露出が固定 点滅：ピントと露出が固定されていない • シャッターボタンから指を離し、ピントを合わせる位置を少しずらしてもう一度シャッターボタンを半押ししてください。

電池を長持ちさせたい

- 以下の操作をすると実際に撮影をしなくても、電池を消耗しますので、なるべく避けてください。
  - シャッターボタンの半押しを繰り返す
  - ズーム操作を繰り返す
- 電池の消耗をできるだけ防ぐには、こまめに電源を切るようにしましょう。

メニューで選べない機能がある

- メニューを表示したとき、十字ボタンを使っても選べない項目がある場合があります。
  - 現在の撮影モードで設定できない項目の場合
  - すでに設定済みの項目との組み合わせの関係で設定できない場合：［ ］と［ ］など。
  - 他のカメラで撮影した画像を編集しようとしたとき
- カメラにカードが入っていないと、使用できない機能があります。

  ［パノラマ］／［プリント予約］／［カード初期化］／［データコピー］

画質の選び方の目安を知りたい

画質は、画像サイズと圧縮の度合いの組み合わせを表しています。選択する場合のおおよその目安は、以下の通りです。

A3などの大きなサイズできれいに印刷したい／パソコンで画像処理したい

- ［SHQ］［HQ］

A4やはがき大のサイズに印刷したい

- ［SQ1］

メールに添付したりホームページに載せる

- ［SQ2］

風景など被写体のワイド感を表現したい/ワイドテレビで画像を見る

- ［16：9］

☞「画質　用途に合わせて画質を変更する」（P.22）

各機能の設定を初期設定に戻したい

- 使用中に変更した撮影に関する設定を初期設定に戻すには、［リセット］を［実行］してください。

☞「リセット　撮影機能を初期設定に戻す」（P.23）

- ［画質］、シーンモード以外の撮影に関する設定は、電源を切ると初期設定に戻ります。

再生中、こんなときは

ぶれた画像を補正できない

- ［電子手ぶれ補正］で［実行］を選択しても、補正できないまたは補正効果が得られない場合があります。
  - シャッター速度が遅い／ぶれの度合いが大きい：
    補正できない、または補正効果が得られない場合があります。
  - 動きのある被写体：補正効果が得られない場合があります。

- また次の場合は、補正機能がはたらきません。
  - 内蔵メモリまたはカードの空き容量が不足している
  - ムービー／パソコンで編集した画像／他のカメラで撮影した画像を選択している

再生中、こうしたい

内蔵メモリ内の画像を再生したい

- カメラにカードが入っているときは内蔵メモリ内の画像は再生されません。カードを抜いて操作してください。

目的の画像をすばやく表示したい

- 再生モードでズームレバーを W 側へ回して、複数の画像を一覧表示（インデックス再生）します。

☞「ズームレバー　ズームイン／ズームアウトして撮る・見る」（P.19）

静止画に録音した音声を消したい

- 一度録音したら音声のみを消すことはできません。音声を入れず（無音状態）再録音してください。

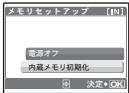
☞「録音　撮った画像に音声を録音する」（P.27）

画像をパソコンで見るとき、こうしたい

パソコンの画面で画像全体を見たい

パソコンのモニタ上で画像が表示されるときの大きさは、パソコンの設定によって変わります。モニタの設定が1024 × 768のときInternetExplorerを使って画像を見る場合、画像サイズが2048 × 1536の画像を100％で表示するとスクロールしないと全体を見ることができません。この場合、いくつかの方法があります。

画像閲覧用のソフトを使って画像を見る

- 付属のCD-ROMのOLYMPUS Masterをインストールして使用してください。

パソコン画面のプロパティの設定を変更する

- デスクトップのアイコンの配置が換わってしまうことがあります。パソコンの設定方法は、パソコンの取扱説明書をお読みください。

カメラにエラーメッセージが表示されたら

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
このカードは使用できません	カードに問題があります。	このカードは使用できません。新しいカードを入れてください。
書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。	パソコンを使って読み取り専用の設定がされています。再度パソコンを使って設定を解除してください。
撮影可能枚数が0です	内蔵メモリの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを入れるか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にカードを使用してデータコピーするか、パソコンに取り込んでください。
撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
内蔵メモリに残量がありません	内蔵メモリに空き容量がなく、新たな記録をすることができません。	カードを入れるか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にカードを使用してデータコピーするか、パソコンに取り込んでください。
カード残量がありません	カードに空き容量がなく、内蔵メモリのデータコピーなど新たな記録をすることができません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
画像が記録されていません	内蔵メモリまたはカードに記録画像がないため画像が再生できません。	内蔵メモリまたはカードに画像が記録されていません。 撮影してから再生してください。
この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
この画像は編集できません	他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。	パソコンの画像ソフトなどで編集してください。
カードカバーが開いています	電池／カードカバーが開いています。	電池／カードカバーを閉めてください。

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
電池残量が ありません	電池残量がありません。	電池を充電してください。
カードセットアップ [xD] 電源オフ カード初期化 決定 OK	カードがこのカメラで使用できません。またはカードが初期化されていません。	別のカードに交換するか、カードを初期化してください。 • [電源オフ] を選択し、OK を押して新しいカードを入れてください。 • [カード初期化] ▶ [する] の順に選択し、OK を押して初期化します。初期化すると、カード内のデータはすべて消去されます。
メモリセットアップ [IN] 電源オフ 内蔵メモリ初期化 決定 OK	カメラの内蔵メモリにエラーがあります。	[内蔵メモリ初期化] ▶ [する] の順に選択し、OK を押して初期化します。初期化すると内蔵メモリのデータはすべて消去されます。
接続されていません	カメラがパソコンまたはプリンタに正しく接続されていません。	カメラとパソコンまたはプリンタを正しく接続しなおしてください。
用紙がありません	用紙切れです。	用紙をプリンタに補充してください。
インクがありません	インク切れです。	インクをプリンタに補充してください。
紙づまりです	用紙が詰まっています。	詰まった用紙を取り除いてください。
プリンタの設定が変更されました	プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした場合です。	プリントの設定中には、プリンタの操作はしないでください。
プリンタエラーです	エラーが発生しました。	カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してから再度電源を入れ直してください。
この画像はプリントできません	他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。	パソコンなどを使ってプリントしてください。

撮影モード／撮影シーン別設定可能な機能

撮影モードによっては、設定できない項目があります。詳しくは、以下の表をご覧ください。

撮影モード別設定可能項目

<table>
<tr><td rowspan="2">撮影モード
機能</td><td rowspan="2">AUTO</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td colspan="7">SCENE</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1</td><td>※1</td></tr>
<tr><td>マクロ</td><td colspan="2">○</td><td>－</td><td colspan="3">○</td><td colspan="3">－</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>スーパーマクロ</td><td colspan="2">○</td><td>－</td><td colspan="3">○</td><td colspan="3">－</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー</td><td colspan="11">○</td></tr>
<tr><td>フラッシュ</td><td>○</td><td>－</td><td colspan="3">○</td><td>－</td><td>○</td><td colspan="2">－</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>ズーム</td><td colspan="6">○</td><td>－</td><td colspan="3">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>露出補正</td><td colspan="11">○</td></tr>
<tr><td>画質</td><td colspan="8">○</td><td>－
※2</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>パノラマ</td><td>○</td><td>－</td><td colspan="6">○</td><td>－</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>静止画録音</td><td>○</td><td>－</td><td colspan="6">○</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td>ムービー録音</td><td>－</td><td>○</td><td colspan="9">－</td></tr>
<tr><td>内蔵メモリ初期化
(カード初期化)</td><td colspan="11">○</td></tr>
<tr><td>データコピー</td><td colspan="11">○</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="11">○</td></tr>
<tr><td>ピクセルマッピング</td><td colspan="11">○</td></tr>
<tr><td>/</td><td colspan="11">○</td></tr>
<tr><td>モニタ調整</td><td colspan="11">○</td></tr>
<tr><td>操作音</td><td colspan="11">○</td></tr>
<tr><td>警告音</td><td colspan="11">○</td></tr>
<tr><td>シャッタ音</td><td colspan="11">○</td></tr>
<tr><td>再生音量</td><td colspan="11">○</td></tr>
<tr><td>日時設定</td><td colspan="11">○</td></tr>
<tr><td>ビデオ出力</td><td colspan="11">○</td></tr>
</table>

※1 FE-230/X-790のみ。
※2 ［640 × 480］に固定されます。

用語解説

画像サイズ

画像を構成する点（ピクセル）の数で表した画像の大きさのこと。例えば、640 × 480で撮影した画像は、パソコンのモニタの設定が640 × 480のときではモニタ全体に表示されますが、1024 × 768ではモニタの一部分にだけ表示されます。

画素数

画像を形成する最小単位の点。画素数が多いほど、サイズの大きな画像を作るのに適しています。

スリープモード（待機状態）

電池を節約するためのモード。電源を入れたままカメラを一定時間放置すると、電池を節約するためにカメラは動作を停止します。シャッターボタンや十字ボタンなどの操作をすると、すぐにカメラは動作します。

露出

画像が写るために得る光の量。シャッター速度と絞りでレンズを通して入ってくる光の量を調節して、露出を決めます。

アルファベット順

CCD（charge coupled device）

レンズを通して入ってきた光りを受けて、電気信号に変換する素子。CCDで受けた光をRGBの信号に変換して、一つの画像を作り出します。

DCF（design rule for camera file system）

電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された、画像ファイルに関する規格。

DPOF（digital print order format）

デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマット。画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF対応の写真店やプリンタでプリントアウトを簡単に行うことができます。

EV（exposure value）

露出値。絞り値がF1、シャッター速度が1秒のときの光量をEV0と規定し、それより絞りを一段絞ったり、シャッター速度を一段早くするごとに、数値は1ずつ多くなります。EVは明るさとISO感度でも表せます。

JPEG（joint photographic experts group）

静止画の圧縮方式。このカメラで撮影した写真（画像）は、JPEG形式でカードに記録されます。パソコンに読み込めば、グラフィックス用のアプリケーションソフトで加工したり、インターネット閲覧ソフト（ブラウザ）で見ることができます。

NTSC/PAL（National Television Systems Committee/Phase Alternating Line）

テレビの放送方式。NTSCは主に日本、北米、韓国で使用され、PALは主にヨーロッパ諸国や中国で使用されています。

PictBridge

異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

TFT（thin-film transistor）液晶

薄膜で作られたトランジスタを利用したカラー液晶モニタ。

アフターサービス

●保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

●本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

●保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。

●当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにお問い合わせください。

●海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載の Ⓦ マークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。

●本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

●修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

お手入れ

カメラのお手入れ

カメラの外側

- 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ります。

液晶モニタ

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ

- レンズブロワー（市販）でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

電池／充電器

- 乾いた柔らかい布で拭きます。

ご注意

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。

カメラの保管

- カメラを長期間使用しないときは、電池やカードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

ご注意

- 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

電池／充電器について

●電池は、当社製リチウムイオン電池（LI-42B/LI-40B）1個を使用します。それ以外の電池は使用できません。

●カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。

●以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
- ズーム動作を繰り返す。
- 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
- 長時間、液晶モニタで画像を表示する。
- パソコンやプリンタとの接続時。

●消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。

●ご購入の際、充電池は十分に充電されていません。ご使用の前に専用の充電器（LI-40C）で充電を行ってください。

●付属の充電池の充電時間は通常約300分（目安）です。

●専用の充電器以外は使用しないでください。

●充電器はAC100～240V（50/60Hz）の電圧範囲でご使用になれます。海外でご使用の際は、変換プラグアダプターが必要になる場合があります。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。

●市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、充電器が故障することがありますので使用しないでください。

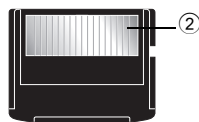
別売品を便利に使う

カードについて

別売のカードに撮影した画像を記録することもできます。

内蔵メモリおよびカードは、撮影した画像を記録するためのフィルムにあたるものです。
記録された画像は自由に削除したり、パソコンで加工することができます。
内蔵メモリはカメラから取り出したり、交換したりすることはできません。
容量の大きなカードに交換すると記録できる枚数を増やすことができます。

① インデックスエリア
　カードに保存されている内容がわかるように、ここに記入できます。

② 接触面（コンタクトエリア）
　カメラの信号読み取り接点が接触する部分です。

使用できるカード

xD-ピクチャーカード（16MB～2GB ）（Type H/M, Standard）

内蔵メモリとカードの関係

内蔵メモリまたはカードのどちらを使用して撮影・再生しているか、液晶モニタの表示で確認できます。

撮影モード

再生モード

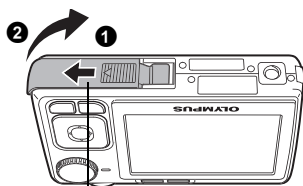
使用メモリ表示
[IN]：内蔵メモリ
[xD]：カード

ご注意

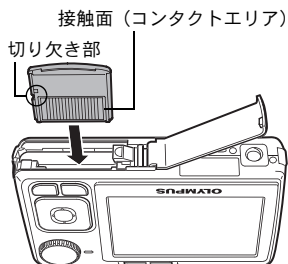
- 初期化や削除をしてもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

カードを入れる／取り出す

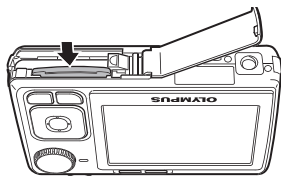
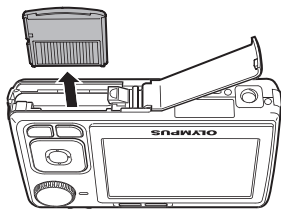
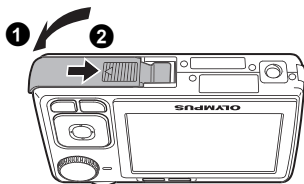
1 カメラの電源を切ります。

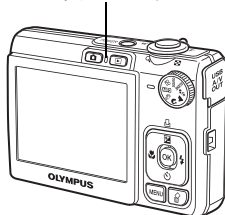
2 電池／カードカバーを開けます。

カードを入れる

3 カードの向きを図のように正しく合わせて入れます。

- カードをまっすぐに差し込みます。
- カードを奥まで差し込むとカチッという音がします。

カードを取り出す

4 カードを一度奥に向かって押しこんで、そのままゆっくり戻します。

- カードが手前に出て止まります。

- カードをつまんで取り出します。

5 電池／カードカバーを閉じます。

ご注意

- カードアクセスランプの点滅中はデータの読み出しや書き込みが行われていますので、絶対に電池／カードカバーを開けないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、内蔵メモリまたはカードが破壊され使用できなくなる場合があります。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると､人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについてのご注意

⚠ 警告

● **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
引火・爆発の原因となります。

● **フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない**

● **カメラで日光や強い光を見ない**
視力障害をきたすおそれがあります。

● **幼児、子供の手の届く場所に放置しない**
以下のような事故が発生するおそれがあります。
- 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
- 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
- カメラの動作部でけがをする。

● **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない**
火災・感電の原因となります。

● **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**

● **連続発光後、発光部分に手を触れない**
やけどのおそれがあります。

● **分解や改造をしない**
感電・けがをするおそれがあります。

● **内部に水や異物を入れない**
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

● **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない**
充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

● **専用の当社製リチウムイオン電池と充電器以外は使用しない**
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

⚠ **注意**

● **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する**
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください。
(電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。)

● **濡れた手でカメラを操作しない**
故障・感電の原因となることがあります。

● **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
けがや事故の原因となることがあります。

● **高温になるところに放置しない**
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠ **危険**

● **火の中に投下したり、加熱しない**
発火・破裂・火災の原因となります。

● **(+)(−)端子を金属類で接続しない**

● **電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない**
ショート、発熱し、やけど・けがの原因となります。

● **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しない**
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。

● **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。

● **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない**
火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。

● **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

⚠ 警告

- **水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない**
- **濡れた手で触ったり持ったりしない**
  感電・故障の原因となります。
- **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する**
  火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- **外装にキズや破損のある電池は使用しない**
  破裂・発熱の原因となります。
- **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
  破裂・液漏れの原因となります。
- **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**
- **液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止する**
  火災・感電の原因となります。
  販売店または当社サービスステーションにご相談ください。
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

⚠ 注意

- **電池を使ってカメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さない**
  やけどの原因となることがあります。
- **長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく**
  液漏れ・発熱により、火災・けがの原因となることがあります。

充電器についてのご注意

⚠ 危険

- **充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない**
  故障・感電の原因となります。
- **充電器を布などで覆った状態で使用しない**
  熱がこもってケースが変形したり、火災・発火・発熱の原因となります。
- **充電器を分解・改造しない**
  感電・けがの原因となります。
- **充電器は指定の電源電圧で使用する**
  指定以外の電源電圧を使用すると、火災・破裂・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。

⚠ 警告

- **コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持つ**
  電源プラグを持たないと、火災・感電の原因となることがあります。
  以下の場合はすぐに使用を中止し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- 電源プラグが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
- 電源プラグに接触不良がある。

⚠ 注意

- **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う**
  電源プラグを抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

使用上のご注意

使用条件について

● 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
- 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
- 砂、ほこり、ちりの多い場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 激しい振動のある場所

● カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。

● レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。

● 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。

● カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。

● カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

● 三脚に取り付ける際は、カメラを回さず、三脚のネジを回してください。

● 本体の電気接点部には手を触れないでください。

● レンズに無理な力を加えないでください。

電池について

● 当社製リチウムイオン充電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

● 電池の（＋）（－）端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。

● 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。

- 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により、撮影枚数が減少することがあります。
- 長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、（＋）（－）端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは社団法人電池工業会のホームページ（http://www.baj.or.jp/recycle/）をご覧ください。

Li-ion

液晶モニタについて

- 本製品は背面の表示に、液晶モニタを使用しています。
- カメラを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。
- 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、付属のケーブルをご使用ください。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
xD-ピクチャーカード™は商標です。
その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

仕様

●カメラ

項目	仕様
形式	：デジタルカメラ（記録・再生型）
記録方式	
静止画	：デジタル記録、JPEG（DCF準拠）
対応規格	：Exif 2.2、DPOF、PRINT Image Matching III 、PictBridge
静止画音声	：Waveフォーマット準拠
動画	：AVI Motion JPEGに準拠
記録媒体	：内蔵メモリ xD-ピクチャーカード（16MB～2GB）（Type H/M, Standard）
カメラ部有効画素数	：710万画素
画像素子	：1/2.5型CCD（原色フィルター）
レンズ	：FE-230/X-790： オリンパスレンズ6.3～18.9mm、F3.1～5.9 （35mmフィルム換算38～114mm相当） FE-240/X-795： オリンパスレンズ6.4～32mm、F3.3～5.0 （35mmフィルム換算38～190mm相当）
測光方式	：撮像素子によるデジタルESP測光方式
シャッター	：4～1/2000秒
撮影範囲	：FE-230/X-790： 0.6m～∞（W）1.0m～∞(T)（通常） 0.1m～∞（W）0.6m～∞（T）（マクロ時） 0.05m（スーパーマクロ時） FE-240/X-795： 0.7m～∞（通常） 0.2m～∞（W）0.6m～∞（T）（マクロ時） 0.03m（スーパーマクロ時）
液晶モニタ	：2.5型（インチ）TFTカラー液晶、11.5万画素
コネクタ	：USB端子／AV出力端子（マルチコネクタ）
自動カレンダー機能	：2000～2099年の範囲で自動修正
使用環境	
温度	：0～40℃（動作時）／-20～60℃（保存時）
湿度	：30～90%（動作時）／10～90%（保存時）
電源	：専用リチウムイオン電池（当社製LI-42B/LI-40B）1個
大きさ	：FE-230/X-790： 幅90.5mm × 高さ55.0mm × 厚さ16.5mm （突起部を除く） FE-240/X-795： 幅93.5mm × 高さ56.0mm × 厚さ20.0mm （突起部を除く）
質量	：FE-230/X-790：105g（電池／カード別） FE-240/X-795：115g（電池／カード別）

●リチウムイオン充電池LI-42B

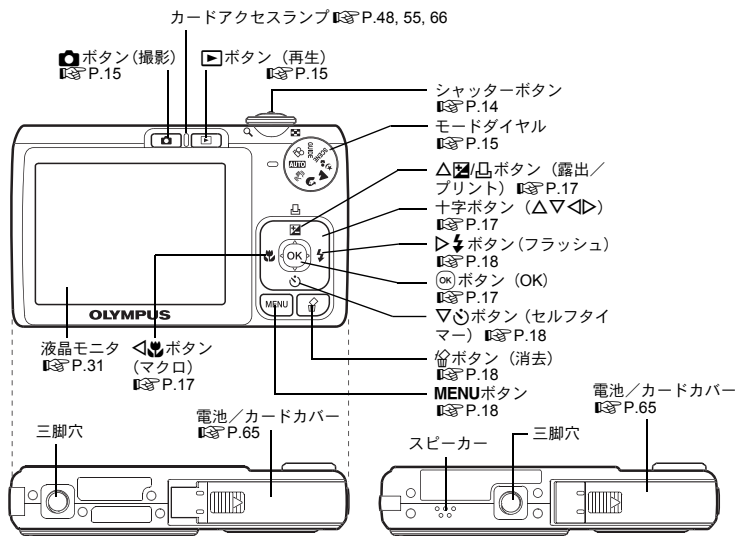
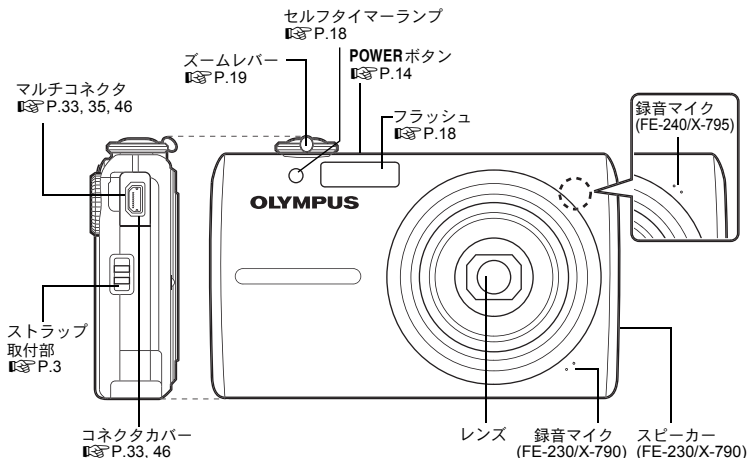
形式	：充電式リチウムイオン電池
公称電圧	：DC3.7V
公称容量	：740mAh
充放電回数	：約300回（使用する条件により異なります。）
使用環境	
温度	：0～40℃（充電時）／-10～60℃（動作時）／ -20～35℃（保存時）
大きさ	：31.5 × 39.5 × 6mm
質量	：約15g

●充電器LI-40C

定格入力	：AC100～240V（50／60Hz） 3.2VA（100V）～5.0VA（240V）
定格出力	：DC4.2V、200mA
充電時間	：約300分
使用環境	
温度	：0～40℃（動作時）／-20～60℃（保存時）
大きさ	：62 × 23 × 90mm
質量	：約65g

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

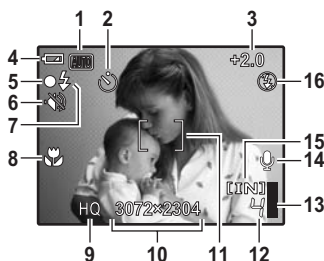
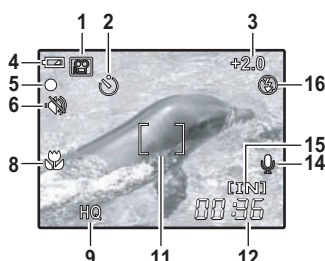
各部の名前

カメラ

セルフタイマーランプ
☞P.18
ズームレバー
☞P.19
POWERボタン
☞P.14
マルチコネクタ
☞P.33, 35, 46
フラッシュ
☞P.18
録音マイク
(FE-240/X-795)
OLYMPUS
ストラップ
取付部
☞P.3
コネクタカバー
☞P.33, 46
レンズ
録音マイク
(FE-230/X-790)
スピーカー
(FE-230/X-790)

カードアクセスランプ☞P.48, 55, 66

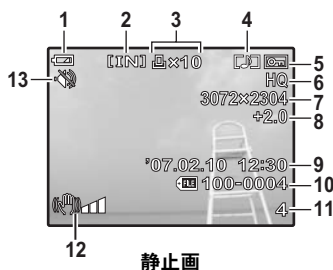
ボタン(撮影)
☞P.15
ボタン（再生）
☞P.15
シャッターボタン
☞P.14
モードダイヤル
☞P.15
ボタン（露出／プリント）☞P.17
十字ボタン（△▽◁▷）
☞P.17
▷ボタン(フラッシュ)
☞P.18
ボタン（OK）
☞P.17
▽ボタン（セルフタイマー）☞P.18
ボタン（消去）
☞P.18
MENUボタン
☞P.18
液晶モニタ
☞P.31
◁ボタン
(マクロ)
☞P.17
OLYMPUS
MENU
OK
三脚穴
電池／カードカバー
☞P.65
スピーカー
三脚穴
電池／カードカバー
☞P.65
FE-230/X-790
FE-240/X-795

資料

●撮影モード

	項目	表示例	参照頁
1	撮影モード	AUTO、[ポートレート]、[風景]、[夜景]、[ムービー]、[スポーツ]など	P.15
2	セルフタイマー	[セルフタイマー]	P.18
3	露出補正	-2.0～+2.0	P.17
4	電池残量	[電池]（撮影可）、[電池]（充電してください）	–
5	緑ランプ	○（ピント固定：フォーカスロック）	P.8, 14
6	消音モード	[消音]	P.24
7	フラッシュ発光予告 手ぶれ警告・フラッシュ充電	[フラッシュ] 点灯 [フラッシュ] 点滅	P.51
8	マクロ スーパーマクロ	[マクロ] [スーパーマクロ]	P.17
9	画質	SHQ、HQ、SQ1、SQ2、16:9	P.22
10	画像サイズ	3072 × 2304、2048 × 1536、640 × 480など	P.22
11	AFターゲットマーク	[　]	P.8
12	撮影可能枚数 撮影可能時間	4 00:36	P.8 P.16
13	メモリゲージ	[ゲージ]、[ゲージ]、[ゲージ]、[ゲージ]（撮影できません）	P.51
14	録音	[マイク]	P.24
15	使用メモリ	[IN]（内蔵メモリに記録されます）、 [xD]（カードに記録されます）	P.64
16	フラッシュモード	[赤目軽減]、[フラッシュ]、[発光禁止]	P.18

資料

●再生モード

静止画　　　ムービー

	項目	表示例	参照頁
1	電池残量	（再生可）、（充電してください）	–
2	使用メモリ	[IN]（内蔵メモリ内の画像を再生しています）、 [xD]（カード内の画像を再生しています）	P.64
3	プリント予約・枚数 ムービー	凸×10	P.39 P.25
4	録音		P.24
5	プロテクト		P.26
6	画質	SHQ、HQ、SQ1、SQ2、16:9	P.22
7	画像サイズ	3072 × 2304、2048 × 1536、640 × 480など	P.22
8	露出補正	-2.0～+2.0	P.17
9	日時	'07.02.10　12:30	P.32
10	ファイル番号	FILE 100-0004	P.39
11	コマ番号 再生時間／録画時間	4 00:00／00:36	– P.26
12	手ぶれ表示	（ぶれのない画像／補正済みの画像） （補正できる画像）	P.29
13	消音モード		P.24

資料

索引

英数／記号

あ行

か行

ま行

や行

ら行

OLYMPUS

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル
0120-084215

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX　042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

※ カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページにて情報提供しております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から
「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 修理に関するお問い合わせ・修理品ご送付先（修理センター）、国内サービスステーション（修理窓口）につきましては、本製品に同梱の「オリンパス代理店リスト」、またはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

※ 記載内容は変更されることがあります。最新情報はオリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp/ をご確認ください。

Printed in Japan
1AG6P1P3343--
VK557701